

わたし？
もと **バケツ**

あの日誰かが手放したプラスチックのバケツ
あるとき海にたどりつき
何百日も、何十年もかけて太平洋を漂った
360度見渡す限りの大海原
ジリジリ照りつける太陽にじわじわ効いてくる波のうねり
体はだんだんもろくなり、小さなかけらになっていった
このまま際限なく小さくなっていくのだろう
そう思った頃、水平線の向こうに陸地が見えた
そしてこの浜辺に打ち上げられた
もうバケツだった頃のことはおぼろげな記憶のかなた
バケツだった頃とは比べ物にならないくらい小さくなった私を
なんとなく見覚えのある二足歩行の生き物が拾い上げた
自分と似た他の「かけら」とともに真水で洗われ干され、
忘れかけていたさっぱり感を味わう
このまま際限なく小さくなっていく運命かと思っていたけど
もしかしてもしかして、想定外？

海洋
プラスチック

12.25 (日)

クリスマス・デイ ワークショップ

ジオリア
GEORIA



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

14 海の豊かさを
守ろう

